



## 初心忘ることなく皆さまの声を県政のど真ん中へ！

日ごろよりの温かいご支援に心より感謝申しあげます。

宮城県議会議員として4期目の議員活動を既にスタートしておりますが、皆さまのお力添えをいただきながら、日々全力で活動させていただいております。

さて、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、世代・地域・業界の様々な枠を超えて、多くの皆さまが日々厳しい状況に見舞われいらっしゃることと存じます。宮城県としても各方面において早急な対策を進めており、自由民主党・県民会議（会派所属議員33名）政務調査会長として、県民皆さまの切実なお声をお伺いしながら、より現場の実状に即した対応を、国や県に対し政策として提言する日々が続いております。

宮城県では、これまで2月、5月、6月、7月の4回の県議会において、総額約1,117億円のコロナ対策関連補正予算を可決成立させて参りました。これらの予算に対する各施策がスピード感を持って展開していくよう、県の各部署に対して働きかけて参ります。

緊急事態宣言は解除されたものの、まだ新型コロナウイルスに対する警戒を解除できる状況には至っていないため、これまでの活動報告は主にインターネットやSNS等を通じて行って参りました。

例年行っています県政報告会や、皆さまとお会いする機会を設けることもまだ困難な状況でありますことから、今回、県議会での質疑質問や政策形成過程について、その一端を県政報告として作成いたしましたので、ご一読頂ければ幸いに存じます。

今後も皆さまの「声」となり「力」となって参ります。

宮城県議会議員（太白区） 佐々木 幸士

## 宮城県議会からコロナ対策で1億円を捻出 ~議員報酬や政務活動費等削減~

県議会6月定例会にて、新型コロナウイルス感染症対策費を確保するため、宮城県議会全8会派において、議員報酬や政務活動費など議会費総額約1億円を削減することで合意し、石川議長より村井知事へ「医療制度の充実や県経済活性化の起爆剤となる事業に役立て欲しい」旨を申し入れました。後日、関連議案は可決され、下記の2事業に充当されました。



### 医療従事者への支援金

### 宮城県独自の制度

帰国者・接触者外来設置医療機関において、PCR検査の検体採取などの医療従事者へ日額2,000円。

新型コロナ感染者の治療を行う医療従事者へ日額4,000円の支援金を支給。

※宮城県「コロナ寄附」を主な財源とする。 **総額67,488千円（議会費削減充当額：27,488千円）**

### 観光・宿泊・飲食業クラウドファンディング活用促進費

### 宮城県独自の制度

「愛するみやぎドットコム」は、2割増利用券の購入で県内の観光・宿泊施設、飲食店を応援するクラウドファンディングプロジェクト。県内の観光宿泊施設や飲食店に対し、県が支援金に対する返礼品の2割増利用券と、ファンド決済手数料5%を補助する事業。

**188,709千円（議会費削減充当額：60,917千円）**

# コロナ禍への提言!「子供達への思い」と「県民の安心」のために 臨時県議会『予算総括質疑』登壇



自由民主党・県民会議を代表し、5月臨時県議会にて、「医療提供体制の整備と拡充」「新型コロナ感染下の教育現場の現状とこれから」「新型コロナ感染下の緊急経済対策」大綱3点について、予算総括質疑を行いました。

## 提言 1 子供達への思い

### 宮城県中学校・高校総合大会の代替大会の開催について要望

#### Q 全国中・高総体(宮城県大会)開催中止に伴う対応について

全国中・高総体、及び宮城県大会の開催中止が決定。この決定により、深い悲しみと目標を失った子供達に希望を与える宮城県大会の開催を希望いたします。県としてのご所見をお聞かせください。

伊東昭代  
教育委員会教育長  
答弁

国からも、各地域での代替案の実現に向けて努力するよう依頼があり、県としては、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、主催団体と連携を図り、代替案について必要経費も含めて検討して参ります。



#### Q 宮城県代替大会実施に向けた知事のメッセージについて

目標を失った子供達は、今本当に心が折れている状況です。子供達の励みになるよう、知事から子供達へ「県として代替大会を行う」とのメッセージを頂きたいと思いますが、ご所見をお聞かせください。

村井知事  
答弁

このような問題は、子供達の目線で、子供達を中心置いて考えなければならず、一生懸命努力してきたものを成果として出せないということは非常に問題があると考えております。教育委員会の方で対策を考えたならば、県として財政的な措置はしっかりと取って参ります。



## 県中学校・高校総合大会の代替大会・高校野球県大会へ予算措置



議会6月定例会にて、全国体育大会代替開催支援費5100万円の補正予算が可決されました。この予算は、中学校においては、県内の市郡単位での地区中総体(※仙台市中総体は開催されず)の開催。高校においては、競技種目ごとの高総体の開催。その開催経費と感染症対策費が主なものです。また、夏の甲子園予選宮城県大会の中止に伴い、高校野球宮城県代替大会(硬式部・軟式部)においても、宮城県高校野球連盟に同様の予算措置がなされました。子供達にとっては夢の舞台であり、特に3年生にとっては集大成の大会。深い悲しみと目標を失った子供達のために、代替大会が開催されることになりました。「子供達への思い」が政治を動かし、行政を動かしました。

#### ●自由民主党・県民会議スポーツ議員連盟にて、「陸上競技」「剣道」視察

新型コロナウイルスの影響により、県内の大半の学校が5月下旬まで3か月間にわたり休校。この3か月間で、生活習慣の維持や体力の保持、学習への意欲、保護者の収入減など、学校休校中の子供達の生活において懸念される項目は多数あるのが現状ではあります。

このような中、宮城県高校総体代替大会が34競技中26競技において開催され、「陸上競技」「バドミントン」「水泳」「剣道」を視察させていただきました。特に3年生にとって、夢と目標の舞台であり、就職や大学等の試験を控える一つの節目と捉えている中、高校生の元気な姿を見せていただき、多くの感動を与えてもらいました。





## 本県のPCR検査能力と民間検査機関との協力体制について

本県においては、これまで一日144件を超えるPCR検査需要はなかったものの、第2波への備えを考えれば、PCR検査体制の強化が不可欠である。県内に拠点のある民間検査機関がどの程度あるのかを含め、今後のPCR検査体制の見通しをお聞かせください。

伊藤哲也  
保健福祉部長  
答弁

これまでの一日常たりの検査実施件数140件程度に対して、3施設合計の処理能力が180件、人員体制を強化すれば更に能力を上げることも可能との見通しを持っておりますが、今後、急激に患者数が増大する場合に備えるため、民間の検査機関へ委託する準備について、関係病院と調整をしております。尚、受託可能な民間検査機関の内、10社ほどは県内に拠点を持っており、こちらでは優先的に受託して頂けるものと見込んでおります。



### 現

在、本県のPCR検査機関は、宮城県保健環境センター(80件)、宮城県医師会健康センター(20件)、仙台市衛生研究所(80件)、3施設を合わせて、一日当たり180件の検査が可能となっております。また、6月定例会補正予算にて、機器の追加整備や人員体制の見直しが行われ、更に増強することも可能であり、第2波への備えとして、民間検査機関との連携も図っております。さらに、本県のPCR検査結果は、検体採取の翌日までには、その結果が宮城県、仙台市に分類され集計・報告されております。新型コロナウイルス感染症対策として、一番の具体的な対策となる「特効薬」や「ワクチン」の開発と実用化には、まだ時間を要するところで、それまでは、PCR検査や抗原・抗体検査を含め更なる検査体制の強化と、より早期の診断と適切な医療につなげられるよう医療提供体制の整備と拡充が必要であります。

## 投票率向上と経費削減のために

## 宮城県議選と仙台市議選の選挙期日の統一に向けて～検討状況～

宮城県議会各会派による「議会改革推進会議」で協議を行い、選挙期日の統一に向けた手法や課題などについて、下記のとおり中間報告書をまとめました。

	統一案①	統一案②	統一案③
選挙期日(想定)	公選法90日特例の適用範囲の拡大を目指す場合  9月23日～10月16日	県議会を解散し、市議選と日程を合わせる場合  8月頃	県議会・市議会の解散を行う場合  4月の全国統一地方選挙に合わせての解散も考えられる
法改正等の対応	必要	不要	不要
議員の不在期間	市議が不在期間あり	県議が不在期間あり	県議・市議共に不在期間あり
問題点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月に市議会議員が不在となるため、市議会9月定例会の開催が困難となる。</li> <li>県議会も9月定例会の日程を調整する必要がある。</li> <li>7月に行われている白石市議会議員選挙は90日特例の適用対象外。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選挙期日が仙台七夕まつりやお盆の時期にかかる。</li> <li>県議会の解散によって、現在同一選挙日となっている亘理町・山元町・女川町の選挙が新たに乖離してしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮城県議会や仙台市議会への影響は解散時期によって異なる。</li> <li>解散時期、手続きについても両議会で綿密な打ち合わせが必要とし、両議会の意思が完全に一致していることが必要不可欠。</li> </ul>



### 東

日本大震災の影響で日程が分かれた宮城県議選と仙台市議選の再統一に向け、両議会の新議長である石川光次郎県議会議長と鈴木勇治市議会議長が1月末、初協議に臨み、低投票率改善と経費削減効果が大きいとの課題認識を共有しました。選挙期日の統一については、2015年から両議会において協議を続けておりましたが、地域や政党間の温度差を解消することができず、前回選挙(2019年)では断念した経緯があります。

その結果、県議選挙(太白区)の投票率は30.36%、市議選挙(太白区)は35.96%と共に過去最低に落ち込みました。選挙統一の経費削減効果は約8,000万円とも見込まれております。震災復興から10年の節目を迎え、宮城県議選と仙台市議選の選挙期日の統一に向けて、県民や市民の皆さまとの議論を深め、両議会にて協議を続けて参ります。

# 議員提言により実現!県立高校(普通教室)へエアコン整備へ

## これまでのエアコン整備の見解と課題



県議会  
2018年定例会  
一般質問にて



1998年と2018年の6、7、8月の仙台市の平均気温の比較では、約3°C上昇。最高気温も5月に30°Cを記録するなど、真夏日、猛暑日の日数が格段に増えている。近年の地球温暖化の影響により夏の時期が長く、最高気温も上昇しており、夏の暑さが厳しさを増している中、熱中症対策として、県内市町村においては、小中学校のエアコン導入の方向性が次々と示されている。県立の特別支援学校や高等学校のエアコン導入に向けた知事のご所見は?



村井知事  
答弁

特別支援学校のエアコン整備については、体温調整が困難な児童生徒が在籍する教室や寄宿舎にも設置している。まずは、国の財政支援を見据え、特別支援学校を最優先に整備していく。県立高等学校のエアコン整備については、保健室や図書室、音楽室、コンピューター室などの特別教室、職員室や事務室など用途ごとに優先順位に従って整備を進めてきた。また、宮農や加美農の寄宿舎への整備を検討している。しかしながら、県立高校(普通教室)へ、一律にエアコンを整備するには多額の予算が必要であるため財政的に困難である。

### ☑ エアコン整備の初期投資とランニングコストの財源確保が課題

特別支援学校の対象工事費には国からの3分の1の補助制度が適用できるが、高等学校の場合は補助制度がない。



県立高校  
(普通教室)

設置費用  
約56億円

維持管理費  
年間 約2億円

特別  
支援学校

設置費用  
約14億円

維持管理費  
年間 約5,400万円

## エアコン整備への動き

### ☑ 「県立高校へエアコン設置を求める要望」を村井知事へ提出

2020年2月に宮城県高等学校PTA連合会から、「県立高等学校普通教室へのエアコンの早期設置」の要望書が宮城県教育委員会へ提出。自由民主党・県民会議にも保護者を中心にエアコン導入を望む声が相次ぎ寄せられました。

6月定例会にて、会派議員の質問にも村井知事は財政難を理由に実現は難しいと答弁は変わりませんでした。この状況を打開するため、6月定例会最終日、議員からの提言として自由民主党・県民会議をはじめ与党三会派にて、要望書を提出。

本県の高等学校の普通教室におけるエアコン設置率は、全国ワースト3位となる3.6%で、全国の平均83.5%を大きく下回っており、夏季における生徒の学習環境に対する強い懸念を示しました。また、新型コロナウイルスの影響で夏季休業が短縮している中、第2波のタイミングによっては来年度以降も厳しい暑さでの学習を強いられる可能性があるとして、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用も含め、早期の設置を求めました。

村井知事からは、今夏までの設置は困難としつつも「財政は厳しいが酷暑が増え、授業中の熱中症も懸念される。早くても来年度以降だが、重く受け止め、しっかりと検討したい」と述べ、エアコン導入の可否を再検討する考えを示しました。



## 2021年度エアコン整備方針へ

上記の議員提言を受けて、臨時県議会7月定例会にて、県立高等学校空調整備費22億7,200万円が予算計上されました。

その中において、県立高等学校72校中、31校分のエアコン整備の方向性が初めて示され、残りの40校についても、財源と整備手法の検討を進め、2021年度のエアコンの早期整備完了となるように取組んでいく方針が示されました。

### ● ● ● ● 整備順位の考え方 ● ● ● ●

航空機の騒音等により窓を開放できないなどの支障がある学校が立地する地域を実施

11校  
168室

石巻高校 / 石巻西高校 / 東松島高校 / 石巻北高校 / 石巻北高校  
飯野川校 / 水産高校 / 石巻工業高校 / 石巻商業高校 / 仙台東高校 /  
貞山高校 / 多賀城高校

県内では比較的気温の高い県南地域から順に実施

20校  
321室

白石高校 / 白石高校七ヶ宿校 / 角田高校 / 村田高校 / 柴田高校 / 蔵王高校 /  
柴田農林高校川崎校 / 伊具高校 / 白石工業高校 / 宣理高校 / 名取高校 /  
名取北高校 / 農業高校 / 仙台三桜高校 / 仙台向山高校 / 仙台南高校 /  
仙台西高校 / 仙台第一高校 / 工業高校 / 第二工業高校

\*再編統合される柴田農林高校本校及び大河原商業高校並びに校舎建設中の宮城第一高校及び石巻好文館高校については、別途整備を検討する。

＼皆さまの「声」となり、「力」となって参ります！／